

みらくる

Mirakuru

2019年 1月 第33号

〈発行〉
社会福祉法人・NPO 法人 人権の会
しあわせネットワーク
〒620-0044
京都府福知山市字天田小字額田 426 番地
TEL0773-22-4659 FAX0773-22-4669
E-mail shiawase@kisnet.ne.jp

新年あけましておめでとうございます。 本年も宜しくお願い致します。



「芸術祭で表彰を受ける新宮さん」(H30.12.1)

障がい者の社会参加の促進を図るため京都市左京区で開催された「京都とつておきの芸術祭」(実行委員会)の作品募集に応じた、利用者の新宮辰弘さんの絵画『魚集まる海底都市』が「実行委員会会長賞」に入賞しました。その表彰式が去る十二月一日に京都市内で行われ、本人とご家族が出席しました。新宮さんは作品提出にあたって「魚や海の生き物と建物を合わせることで面白い世界が表現出来る」と思い、この絵を描きました」と、喜びをかみしめて話してくれました。本当におめでとうございます。

快挙！新宮さん 芸術祭で入賞する

施設だより

介護の日大作戦

例年「介護の日」を市民規模の行事にする取り組みが、今年も十一月五日(月)から十日(土)に開催されました。しあわせネット・勇気も五日から開かれた「愛いろいろ展」には、利用者の新宮さんの作品を中心に出演。好天に恵まれた十日の「介護の日大作戦」(福知山駅北口広場)では、「自家製うどん・ミニ丼・おからほっぺ」の販売に大奮闘しました。



「愛いろいろ展」での作品展示

頑張りのスマイル！ 勇気工房ほほえみ

勇気工房ほほえみでは、十月から十一月にかけては毎週のようにイベント販売に出店。「自家製うどん」をはじめ、新味の「おからほっぺ」を中心に多数販売することが出来ました。特に「自家製うどん」は、各イベント会場において販売数が百杯を超し、参加した利用者の仲間も喜んでいました。

また、利用者さんの冬のボーナス企画として取り組んだ販売活動には、おからほっぺの詰合わせを中心に販売し、こちらも多くの方にご購入していただくことが出来ました。ありがとうございました。



一口食堂

大学食堂部「にじいろ食堂」では、公立大学学生からの依頼により、「子ども食堂」の開催に協力しています。昨春秋は食品製造部とも協力し合い、市内で開かれたイベント販売へ、学食でも人気のあるメニューを「ミニ丼」として多数販売。後援会の秋まつりでは、早朝より皆でバラ寿司を作りました。



リサイクル部

リサイクル部では連日空き缶やペットボトルが山のように運び込まれ、最近では新聞紙や雑誌、チラシの区分け作業も増え大忙しの日々です。また、廃油回収用のポリ容器に付く汚れを落とす作業も大変ではありますが、皆で協力し合って作業をしています。



編集後記

新しい年が始まりました。年末の忙しさ・慌ただしさから解放されて、お正月をゆっくりと過ごした仲間(利用者)たちが、自分らの職場である「しあわせネット・勇気」で夢を膨らませて働けるように、役員は一丸となって本年も努めていきます。その姿は、この広報誌「みらくる」に、どんな仲間の笑顔が、どれだけ多く届けられるかにあります。本年もより多くの仲間の笑顔が、皆様のごほうへ届けられるよう編集部は取り組んでまいります。宜しくお願い致します。



三十年間続いた「平成」の元号が、五月以降「新元号」に代わる予定のなかで迎えた二〇一九年です。昨年一年間を振り返ると、氣候変動で発生した「豪雨・台風・猛暑」に、安倍内閣による「福祉」への厳しい政治情勢に加え、福祉関連施設に関わる事故や事件が多発しました。誰もが望む平穏な日常生活とはかけ離れた「生きづらいつら日々」であったと痛感した一年でもありました。それでも、私たちは、全国組織である「きょうされん全国大会 in 京都」開催に協力し、施設の開設十周年記念行事を企画、事業所で働く仲間（利用者）の歌をつくり、仲間自らが企画した「レインボーまつり」をはじめ、「夏・冬のボーナスづくり」や福祉後援会主催の行事など、多くの活動に取り組みました。

さて、新年がどんな展開になるのかは不確かです。でも私たちの立ち位置は明確です。それは「障がいがあるうとなかろうと、安心して暮らせる社会の実現」を目指して、仲間へ寄り添いながら、社会の不合理にも勇気を持って立ち向かっています。

新年は、次の十年に向けての門出です。福知山公立大学の学生食堂名である「にじいろ」にあやかって、仲間や社会に「にじいろ」の架け橋をつないで、皆が「しあわせ」になる施設づくりに邁進していきます。皆様には引き続きのご支援をお願い致します。



オールディーズによる「座ったまま出来る健康体操」

利用者さんの声

おがわ のぶひろ
小川 信弘 さん (62歳)

通いはじめて五年目となります。私は大学食堂で洗い場の担当をしています。毎日同じ作業の繰り返しではありますが、どんな仕事でも確実に、丁寧に、共に働く仲間と助け合いながら作業をしていくことが大事だと思っています。これからも体調に気をつけて、休まず頑張っていきます。

後援会入会のお願い

障がい者施設の安定運営のために皆様のご支援をお願いします。

社会福祉法人しあわせネットワークが運営する施設や各種事業をご理解いただき、会員として後援会にご入会くださいますよう、心からお願い申し上げます。

〈活動内容〉
各種イベントの開催、機関誌発行など

〈後援会費〉
年間／一口1,000円
年会費は機関誌発行、各種行事等に有効活用させていただきます。

**多くの皆様のご支援・ご協力を
よろしくお願い申し上げます。**

※2年以上ご連絡のない方は、機関誌等の配送を一旦止めさせていただきます。ご了承ください。

福祉後援会主催「紅葉・秋まつり」

久しぶりに長安公園「憩いの家」で開催！

前日の雨に打たれた紅葉が、最後の彩りを残した風景が広がる長安寺公園周辺にある施設「憩いの家」で、福祉後援会主催の「紅葉・秋まつり」を、昨年十一月二十四日（土）に開催しました。後援会員の皆様や利用者の仲間など六十人が集い、久しぶりに自然に包まれた会場で楽しいひと時を過ごしました。田中幸巳会長挨拶で開会し、午前中の余興はギター、ハーモニカ等を使う二人組「オールディーズ」による楽器演奏と健康体操で幕開け。食事は、大学食堂と食品製造部の仲間たちが作ったバラ寿司や、自家製のうどんを美味しく頂きました。午後は、後援会員の久保浩氏と女性ボーカルまゆみ氏に、田中会長の尺八も加

新年あけましておめでとうございませう。本年も宜しくお願い致します。

さて、新年がどんな展開になるのかは不確かです。でも私たちの立ち位置は明確です。それは「障がいがあるうとなかろうと、安心して暮らせる社会の実現」を目指して、仲間へ寄り添いながら、社会の不合理にも勇気を持って立ち向かっています。

新年は、次の十年に向けての門出です。福知山公立大学の学生食堂名である「にじいろ」にあやかって、仲間や社会に「にじいろ」の架け橋をつないで、皆が「しあわせ」になる施設づくりに邁進していきます。皆様には引き続きのご支援をお願い致します。



利用者の仲間たちが企画し、施設周辺で十月初旬に開催した「レインボーまつり」を皮切りに、「緑化まつり」に「福知山産業フェア」「ふれあい福祉フェスタ」と毎週イベントに出店。十一月には介護の日週間にあわせて開催された「介護の日大作戦」に「福知山マラソン」での販売活動、最後は福祉後援会主催の「紅葉・秋まつり」で一段落しました。

今年も例年通り、イベントでの販売活動は利用者さんの「冬のボーナスづくり」も兼ねて取り組んだため、利用者・職員ともに各地で奮闘しました。



福知山産業フェア



ふれあい福祉フェスタ

各種のイベントをみんなの力で乗り切りました